

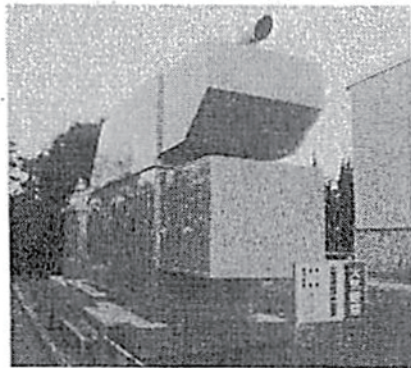
# 自家発で3日間稼働

## 大成ファイナ本社工場に設備

【千葉】大成ファイナケミカル（千葉県旭市、稲生豊人社長、0479・64・2077）は、本社工場に自家発電設備（写真）を導入した。出力は480キロワットで、夏場に稼働する反応設備冷

却用のチラーを除き、全設備の電力を約3日間まかなえる。総投資額は4500万円。同社は東日本大震災を機に新たな事業継続計画（BCP）を作成。自家発電機の導入はその一環

で、本社周辺地域で水害が50～60年周期で発生するとされていることも考慮し、高さ50センチの基礎の上に設置した。2012年度中には重油貯蔵タンクを増設し、1週間程度の連続稼働を



可能にすることも計画している。

震災など非常時への備えで導入したが、適時稼働させることで東京電力の電気料金引き上げに対応することも検討中。

今後、試運転を続け、燃料価格や運用コストを検証する。